

恵仁会通信（戮力共心） vol.13

発行日 2010年2月1日

発行所：医療法人社団 恵仁会 事務所
〒088-0301 北海道白糠郡白糠町東1条南1丁目2-34
しづえ歯科クリニック内
TEL01547-9-3300 FAX01547-9-3330



皆さんこんにちは。今回は恵仁会事務からの発信となります。今回は会社を経営される方、または事務をされている方宛の内容に思われるかもしれませんが、今の国会で出されている方針も併せて載せております。是非ご一読下さい。

10年後に向けた新成長戦略の基本方針

政府は、10年後に向けた国の成長戦略を発表しました。国の政策は当然ですが、経済への影響は大きく、企業活動の方向性を決める要因になります。

◆ 6つの柱を掲げた成長戦略

新成長戦略の基本方針では、「環境・エネルギー大国」、「健康大国」、「アジア経済」、「観光立国・地域活性化」、「科学・技術立国」、「雇用・人材」の6つを戦略の柱として掲げ、2020年度までの平均で、名目3%、実質2%を上回る成長により、10年後の経済規模を名目GDP650兆円程度（09年度473兆円）を目指すことを目標にしています。

例えば、環境・エネルギー大国戦略では、「50兆円超の環境関連新規市場」、「140万人の環境分野の新規雇用」などを目標とし、達成するための主な施策として「電力の買取制度の拡充等による再生可能エネルギーの普及」や「エコ住宅、ヒートポンプ等の普及による住宅・オフィス等のゼロエミッション化」、「規制改革や、税制などの政策を活用した集中投資事業の実施」などが掲げられています。

◆ 将来を見据えた経営を！

これらの戦略は、いわば国の中期経営計画であり、進む道の方向性を示すものです。企業においても何を目標に、どの方向に進むのかが曖昧であれば、成長戦略を描くことはできず、社員も不安になります。

現在の厳しい経済情勢では、目先の事にとらわれがちになり、目標を立てることは難しいことですが、将来を見据えた経営をすることで、今やるべき事や問題点が明確になり、不況を乗り越えるための道しるべとなります。

◆ 今後の雇用状況

厚生労働省は、2009年の平均の有効求人倍率が0.47倍で、統計を取り始めた1963年以降で過去最悪だったと発表しました。

総務省が発表した09年の平均完全失業率（速報値）も5.1%で、2003年以来の5%台となっています。求職者1人に何人分の求人があるかを示す有効求人倍率は、08年秋のリーマン・ショック以降、企業が人員を削減したことなどから、09年は7、8月に過去最悪の0.42倍を記録するなど、年間を通じて極めて低い水準で推移した。その結果、過去最悪だった1999年の0.48倍より悪化した。

09年の平均失業率は、08年の4%から、1.1ポイント上昇した。上昇幅は過去最大です。

小さな朗報もあります！ 09年12月の有効求人倍率（季節調整値）は0.46倍で、11月より0.01ポイント上昇し、4か月連続で改善しております。

頑張ろう！！日本！！！！（*^_^*） /